

第56号

発 行 2007年

8月15日 本郷ふじやま公園 運営委員会

ホームページ http://www.k5.dion.ne.jp/~h\_fuji\_p

# おかげさきで公園はまもなく5歳

## 5周年記念事業プロジェクトが発足

節目の開園 5 周年を迎える来年には地域のみなさまへの感謝の気持ちを表し、ボランティア の人たちもお互いの労をねぎらいながら一緒に喜びを分ち合うためにさまざまな事業の計画 を立てています。6月1日には5周年記念事業の実施に向けて、第1回プロジェクト会議が開 催されました。席上、辻事務局長から、次のような記念事業のコンセプトが発表されました。

- ●多くの方に感謝し公園の活動に係わった多くのボランティアの皆さんと共に誇りをもっ て行事を開催する。
- ●公園の基調である「生きている古民家でふるさと体験」6つのねらい(※)をしっかりとと らまえ行事の企画を行う。



平成12年の12月頃 一面の畑

開園式典 平成 15 年 2 月 15 日



平成 19 年 7 月 27 日 正門からの プロムナード

(※)6つのねらい:「憩いの場、地域の交流の場を生み出す」「昔の暮らしが体験できる場に する」「ふるさとの歴史、文化を学び伝える」「手作りを楽しめる場にする」「ふるさとの 行事を育てる」「里山を再生しながら、活用していく拠点にする」 (古民家活用企画委員会平成9年7月14日)



## ♪ ▶ 平成 19 年 7 月の来園者数と団体・グループ来園状況 ♪ ♪

来園者数 1079 名

(来園日) (団体名)

(人数・内数)

6日(金): 亀井町ウォーキングクラブ · · · · 15名 21日(土): さかえ歩け歩けの会 ..... 30名



## 第21回古民家歴史部会歴史探訪―旧東海道を歩く(7月5日)

JR 東戸塚―品濃坂―平戸の梨園―品濃一里塚―焼餅坂―荻原代官屋敷・道場跡―境木地蔵―境木 立場跡―投入塚―権太坂改修記念碑・松並木―元町由来標識・いちはつの花―帝釈天・旧元町橋跡 ―昼食場所"きむら蕎麦や"―解散

当日は晴天 参加14名、案内は原本さん。JR東戸塚駅を10時出発。今回は権太坂の上りが

大変なので、戸塚より保土ヶ谷宿へのコースとする。

品濃一里塚

白旗神社は源頼朝を祀る。子供の狛犬を抱いた狛犬碑が珍しい。品濃坂の急な階段を上り旧東海道の尾根道を行く。品濃一里塚は完全な形で残っていた。尾根道より下り、萩原代官屋敷は孟宗竹に囲まれた旧家、昔

は道場もあり、有名な近藤勇の宿泊記録があった。再度尾根道に戻り、謂われある境木にて休む。武蔵、相

模の国境の杭あり。投入塚(旅の途中亡くなった人たちを葬る)、光陵高校校庭に数本の松あり、この付近に昔は松並木の東海道が通っていたと思われる。右側に改修(S30年)記念碑あり、権太坂近くの蕎麦やに12時に着く。歩行距離6kmの内、下りが約5kmで全員楽勝でした。(保土ヶ谷宿より歩けば一汗かくところ。江戸時代の人々は大変だったことがわかりました。)



権太坂を坂下より坂上を

# 古民家Q&A 座敷の壁の色

Q:上,中,下座敷の壁の色は赤色(ベンガラ色)になっていますが何故ですか?

A:日本においては古墳内石槨、寺社の内殿・内陣が彩色されることはありましたが、一般家屋の内部壁は土色が昔から続いてきました。書院造りなど内壁に白色が用いられることがありましたが、費用と技術から一部の階層のみに限られました。

赤色壁は桃山時代の茶人、古田織部が数寄屋壁に赤土を使ったのが最初で、その後、桂離宮の小壁にも赤色系の土壁が使われ、白色壁に代わり色壁が流行し始めました。関西地区には良質の色土を産出し、色土を上塗りする技術とともに全国に広がりました。地方によっては赤色の壁は貴人・客人を迎える客室に用いられました。しかし江戸時代では一般庶民には許されませんでした。一方、「赤」は「大」+「火」の会意文字で、大いに燃える火の色を表します。火には罪や穢れを祓い清め、慶び・魔よけの意味を表し人生の節目に赤色が登場します。赤色の原料のベンガラ・朱は防腐・防虫の役目があります。

旧小岩井家の座敷の壁においての赤色が使われていることも同じ理由と思われます。

#### ゲン/ショウコ

生薬名:現証拠(ゲンノショウコ) 別名:ミコシグサ、イシャイラズ

民間薬:下痢止め

日本全土、県内全域に分布。高さ 30cm から 50cm の多年草。夏の土用の頃になるとこの花が満開になる。薬効が優れていることから「現の証拠」という名前がついている。

花は径 1.5cm 位、花弁は 5 枚で白色又は紫紅色で、花が終わると果実は種子を放出して 5 枚の果皮が上方に巻き替える。この姿がみこしに似ているのでミコシグサともいう。 薬用部分は全草。花期に地上部の茎葉を採り、水洗いをして陰干しにする。葉にはタンニンを含む。

**薬効**:大腸炎などによる下痢止め、健胃整腸薬、腫れ物、しもやけの洗浄用、冷え性、 高血圧予防にも用いられる。

# 教室訪問 粘土工芸の巻 (7月20日)

教室にお邪魔すると、大きな目のたくさんのフクロウがいました。

今回は粘土工芸の教室です。軽量の石粉粘土に薄紫色の絵の具を入れてこね て作った頭や羽根などのパーツを、接着剤を使って組み立てます。丸い頭や胴体は発泡スチロールに粘土を巻きつけて作ってから中を取り出します。目玉は緑や青の大きなビー玉。乾燥させてみがいてから嘴や足を金色に塗ると、愛嬌のあ

るフクロウの出来上り。

「全体の紫色を濃く塗りすぎたときにはゴールドをまぶすように塗って補正します」と先生からのアドバイス。フクロウを電球に被せると、緑や青の目がウルウルと潤んで見えます。この粘土は





乾燥すると壊れにくく軽いという特徴があるそうです。

#### 『いろり迎雑記』から (原文のまま)

ここにはここにこうしてじっと坐っていると木立の中をかけぬける風が 木の葉をゆらし、幾百年のさい月を越えて命の続きを伝えてくれます。 いろりに坐り、竹炭の香りにつつまれ、木の柱に身を寄せると涙があふれ てきます。

自然と共に生きてきた人間のぬくもりがあります。どうか大切に保存していつまでも存在しますように。富士山もすばらしい。

# 

## 平成 19 年 9 月度公園活動予定

●事務局

事務局会議 7日(金)

●農芸部会

定例部会 17日(月·祝)

定例作業 3日(月) 6日(木)

10日(月) 13日(木)

20日(木) 24日(月)

27日(木)

●里山部会

定例部会 8日(土) 15日(土)

23日(日·祝)

●古民家歴史部会

定例部会 9日(日)

歴史探訪 6日(木)

●工作棟部会

定例部会 26日(水)

子ども工作準備 週2,3日

●クリーンアップ 4日(火) 18日(火)

● 用炉裏守

**囲炉裏焚き** 2日(日) 13日(木)

16日(日)

●ふじやまだより編集会議 8日(土)

印刷 12日(水)

●ホームページ制作打合せ 1日(土)

# 楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください、お待ちしております。

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
伝統工芸 「鎌倉彫」を彫る (全3回)	9月30日(日) 10月7日(日) 10月14日(日) 10時~12時30分	18cmの平皿にぶどう文を彫ります	2,000円	9月20日(木)
和紙ちぎり絵(全2回)	9月21日(金) 10月26日(金) 13時~16時	烏瓜を張ります 10月は柿を張ります	2,500円	9月14日(金)
フラワーアレン ジ	10月 2日(火) 13時30分 ~15時30分	初めてのアレンジ 「まあるく生ける」	1,800円	9月20日(木)
押し絵(全3回)	10月 4日(木) 10月11日(木) 10月18日(木) 13時~16時	柿とり童	1,500円	9月25日(火)
折紙手芸 (全3回)	10月15日(月) 11月12日(月) 12月10日(月) 10時~12時30分	三角パーツの折方から平面の組立 て作品(2点) ※定員8名	1,000円	9月26日(水)
布細工(全2回)	10月16日(火) 10月24日(水) 13時~16時30分	和布で作るネックレス	1,000円	9月26日(水)
刺し子	10月17日(水) 13時~16時	手提げ (30×32cm)	1,300円	9月26日(水)
竹トンボ作り	10月20日(土) 10時~15時	究極のスーパー竹トンボを目指して	無料	10月10日(水)

- (1) 持参品:返信ハガキで連絡します。(2) 定員:12名。応募者多数のときは抽選。
- (3) 応募要領:往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、 電話番号を書いて 応募期限までに本郷ふじやま公園へ

## ・・・ お知らせ・・・

## ★ 十五夜お月見の会 ★

10月27日(土) 15時~19時40分 入場無料 (雨天中止)

- ◆ 縁側にお団子・秋の野菜草花をお供えします。
- ◆ 演芸 18時~19時40分(琴、津軽三味線、オカリナ、日本舞踊)
- ◆ 野点 15時30分~ 先着50名様に券販売(300円)
- ◆ 月見団子 15時30分~ 先着100名様に券販売(200円)
- ◆ ふじやまお月見弁当 15 時 30 分~ 先着 100 名様に券販売 (250 円) (券の引き換えは 16 時か 17 時です)

·開館時間: 9:00~17:00 ·入館料:無料

•休館日 : 9月5日(水)

#### ◆本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20 TEL:896-0590 FAX:896-0593 「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAX で

